

技能功労士



提灯絵付け師 44年
個人事業
塚本 賢一さん
(68歳/三潴町)

経済産業大臣指定の伝統工芸「八女提灯」の絵付け師であり、平成17年伝統工芸士に認定される。「速描法」といわれる一筆書きで一日に20個もの提灯の絵付けをすることができる。また、提灯の中で最も大きな「博多長」を手がける数少ない絵付け師である。福岡県伝統工芸展においては、絵付けの実演を行うなど伝統工芸品の普及・継承に多大な貢献をしている。

技能功労士



塗装工 49年
野口研塗株式会社
野口 元紀さん
(65歳/津福今町)

デコレイティブペイントの第一人者。木目、大理石、御影石、杉板模様などをペイントで表現する技法で、日頃使っている道具を駆使し模様を表現する。このデコレイティブペイントを早くから取り入れ、現在は組合の講習会において指導する立場である。若年技能者の育成に熱心で、人材育成センターにおいても技術の指導を行っており、技能向上に多大な貢献をしている。

技能功労士



理容師 48年
ヘアサロン橋本
橋本 宏幸さん
(64歳/西町)

サスーンカットが日本に入ってきた当初、その理論を最初に学んだ一人である。レディースカットの真髄を心得ている。女性の頭の形に合わせたカット法を試行錯誤して研究、講師として各地をまわり、業界のレベルアップに貢献している。流行をいち早く取り入れ、久留米を文化の発信地にした人である。



技能功労士



菓子製造工 50年
丸屋菓子店
藤吉 香代さん
(69歳/田主丸町)

半世紀、創意工夫しながら新しい菓子づくりに励む。昭和52年には、九州の女性で初の1級技能検定に合格。田主丸の巨峰のPRにと、巨峰の果汁に葛を混ぜることで食感に変化を加えたお菓子、「巨峰ふーちゃん」を開発した。「作って面白いものを」と柿やイチジクなどを使った新しい作品にも挑戦中。教育大学附属小学校の体験学習の受け入れ、施設への誕生ケーキ作り、地元の菓子作り教室の講師など、地域貢献活動も熱心である。